

新古今

桜さく遠山鳥のしだりおのながながし日もあかぬ色かな

太上天皇

それ桜は本朝風土の名産なり。其種類凡六十九品ありとぞ。殊に洛東の地勢温純にして、桜樹相応し、清香他境に勝るるなり。中華には桜樹いまだある事をきかず。むかしより桜花の詩賦なし。是其証なり。桜桃の桜の字をきりて桜の文字とす。今清朝の人長崎往来に桜の実を携て本国にかへり、実生しところどころに鉢植などして賞美するよし聞ゆ。